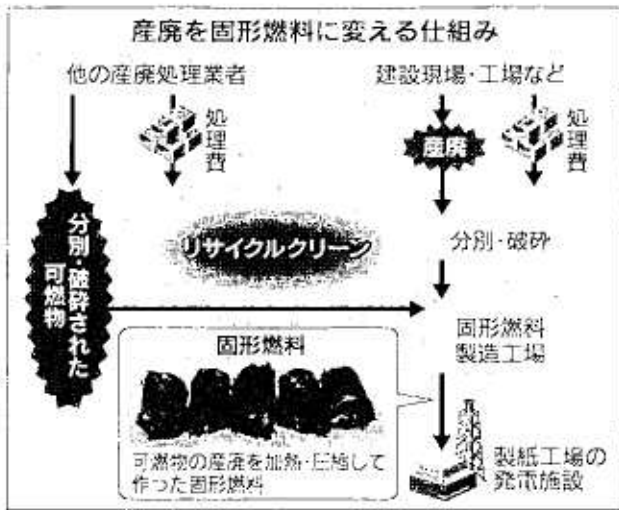


産廃を固形燃料に

リサイクルクリーン

産業廃棄物処理のリサイクルクリーン(浜松市、藤城太郎社長)は袋井市内に産廃を原料とした固形燃料の製造工場を新設する。廃プラスチックや木くずを成形し、発電用の燃料として製紙会社に販売する。月間生産能力は約4000トン。埋め立て・焼却など自社の産廃の最終処分のコストを減らすとともに、他の中間処理業者からも産廃処理を有料で受け入れる。

発電用、袋井に新工場 6億円投資、24時間稼働



産廃の分別や粉碎を手掛ける同社の袋井工場内に完成し、来年2月に稼働する。土地整備や建設

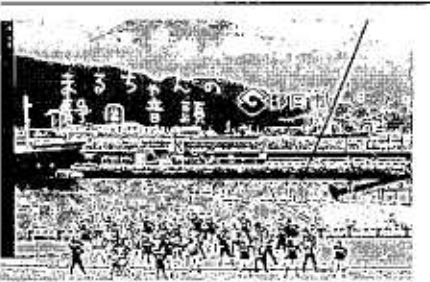


袋井市に建設中の産廃を原料とした固形燃料の製造工場。発電用燃料として製紙会社に販売する(袋井市)

百貨店売上高1.8%増

県内9月 増税後初、全店プラス

静岡県内の百貨店3店(松坂屋静岡店、静岡伊勢丹、遠鉄百貨店)の9月の合計売上高は前年同月比1.8%増の56億円だった。気温の低下で秋の反動減の影響は小さかった。反動減の影響が大きかった美術・宝飾・貴金属消費増税後で初めて前年



「まるちゃん音頭」映像制作 静岡市民579人出演

静岡市は市のPR音頭「まるちゃん音頭」を高める。PVは市内36カ所を撮影した。三保松原やお茶など音頭を担当した。民11月1日

設、機械も含めた投資額は6億円で、銀行借り入れなどで対応する。防音や防振性能を高め、夜間も含めた24時間稼働でコストダウンを図る。

横浜の信託会社と提携
静岡信金、相続関連で
静岡信用金庫(静岡市)は21日、信託会社の山田エスクロー信託(横浜市)と相続関連で業務提携したと発表した。11月中旬から同社への顧客紹介を通じて遺言信託と遺産整理に関するサービスを

業を拡大中。燃料に調伐材や産廃の固形燃料を使用し、再生可能エネルギーとして電力会社に売電でき、石炭と同等の燃焼効率がある固形燃料の需要は高いという。

原料のおよそ25%は自社で中間処理した産廃を利用する。従来は最終処分業者に代金を支払い、焼却か埋め立て処分をしていたが、最終処分場の

減少で「処分の単価が3年前に比べて2〜3割上がった」という。藤城社長は「燃料にすれば処分代が必要な産廃ではなく、代金が受け取れる商品になる。資源の有効活用にもつながる」と強調する。同社はすでに、大川工場(浜松市)と桜台工場(同市)で、固形燃料を小規模に製造している。